

普通会計の概要

平成2年度の決算額を見ると、歳入総額は35億7,396万7千円で、前年度に比べ、21.4%の大幅な増となりました。これは、積立基金からの繰入金・各種積立基金利子・国営土地改良事業に伴う、受益者負担金などが大幅に増えたためです。

又、歳出総額は34億8,794万2千円で、前年度に比べ、21.0%の増となりました。これは、道路や水路及びふれあい会館建設・町営住宅等の建設事業費が85.1%の大幅増となった他、公債費(町借入金の返済金)・下水道会計・国保会計等への繰出金が増えたためです。

歳入歳出差引金額8,602万5千円は、平成3年度に繰越され、有効に使っていく予定です。

＜目的別＞

歳出(出たお金)を目的別に見てみると、ふれあい会館建設事業、ふるさと創生事業、町制施行100周年記念事業などがあった総務費がトップで、全体の28.0%、9億7,795万4千円、次いで町営住宅建設事業・都市街路事業・道路の舗装や改良等があった土木費が6億2,829万5千円で18.0%、以下農村総合整備モデル事業・国営土地改良事業等の農林水産業費が4億2,471万2千円で12.2%、公債費4億1,167万4千円、衛生費1億2,871万5千円、消防費1億1,613万8千円、商工費9,704万5千円、議会費7,075万8千円、その他6,100万円でした。

町民1人当りに使われた費用は、335,025円で、皆さんに納めていただいた1人当りの税金の約5倍になります。

＜性別別＞

歳出(出たお金)を性別別に見てみると、普通建設事業費が前年度に比べ、85.1%増の10億6,576万1千円で全体の30.6%とほぼ3分の1を占めています。これは、ふれあい会館建設事業、街路事業、町営住宅建設事業、農村総合整備モデル事業、国営土地改良事業等、補助事業単独事業とも大幅に伸びたためです。

また、繰上償還のあった公債比が、前年度に比べ、21.2%の増、下水道会計、国保会計、老人保健会計等への繰出金が、前年度に比べ、22.8%の増となっているのが特徴です。

# 小須戸町の家計簿

## 決算統計調査による「平成2年度 財政事情の公表」

先に行われた、地方財政状況調査による「平成2年度決算」の結果がまとまりましたので、お知らせします。

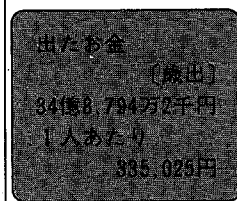
平成2年4月1日から、平成3年3月31日までの1年間で町にいくらのお金が入ってきて、何にいくら使われたのか、今年も1人あたりの数字におきかえてみました。

町づくり、人づくりにどのようにお金が使われたのかご覧ください。

平成3年3月31日現在  
(人口) 一〇、四二一人  
(世帯数) 二、五六八戸

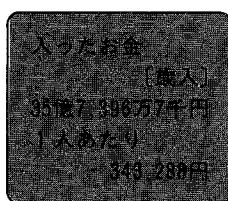
### 出たお金(歳出) 34億8,794万2千円 1人あたり 335,025円

|  |                 |        |
|--|-----------------|--------|
| 総務管理費、税務、戸籍、選挙、統計、国土調査などの経費              | 93,935円 (28.0%) | 総務費    |
| 道路・水路整備事業及び町営住宅、除雪等に係る経費                 | 60,349円 (18.0%) | 土木費    |
| 農業委員会、農業振興、モデル事業及び農道・林道などの整備事業に係る経費      | 40,795円 (12.2%) | 農林水産業費 |
| (町の借金の返済金)                               | 39,542円 (11.8%) | 公債費    |
| (小・中学校、幼稚園に係る経費及び社会教育、社会体育費に係る経費)        | 31,613円 (9.4%)  | 教育費    |
| (社会福祉、老人福祉及び児童福祉などにかかる経費)                | 28,569円 (8.5%)  | 民生費    |
| (各種検診及び予防・白根衛生センター組合負担金などの経費)            | 12,363円 (3.7%)  | 衛生費    |
| (白根地区消防事務組合への負担金及び消防団の経費等)               | 11,155円 (3.3%)  | 消防費    |
| (商業育成資金、中小企業育成資金等の貸付預託金及び商工業振興観光事業に係る経費) | 9,321円 (2.8%)   | 商工費    |
| (議会の運営に関する経費)                            | 6,797円 (2.0%)   | 議会費    |
| (新潟県労働金庫への預託金)                           | 586円 (0.3%)     | その他    |



### 入ったお金(歳入) 35億7,396万7千円 1人あたり 343,288円

|          |                  |                                  |
|----------|------------------|----------------------------------|
| 地方交付税    | 129,455円 (37.7%) | (町の財政力に応じて国から交付されたお金)            |
| 町税       | 69,309円 (20.2%)  | (町民税、固定資産税、たばこ税等皆さんが直接、間接に納めた税金) |
| 地方債      | 29,046円 (8.5%)   | (町の借金で、建設事業などをするとき借りたお金)         |
| 雑収入      | 25,394円 (7.4%)   | (住宅、地方産業育成資金等、貸付金元利収入及び給食費納付金等)  |
| 繰入金      | 22,313円 (6.5%)   | (各種積立基金からの繰入金)                   |
| 国庫支出金    | 11,942円 (3.5%)   | (事業に対する国からの補助金)                  |
| 分担金及び負担金 | 11,855円 (3.4%)   | (土地改良事業受益者負担金等)                  |
| 県支出金     | 11,617円 (3.4%)   | (事業に対する県からの補助金)                  |
| 財産収入     | 7,352円 (2.1%)    | (積立基金利子及び財産貸付収入等)                |
| 使用料手数料   | 7,179円 (2.1%)    | (住宅の使用料や保育料、幼稚園授業料及び各種証明手数料等)    |
| 地方譲与税    | 5,917円 (1.7%)    | (消費譲与税、自動車重量譲与税及び地方道路譲与税)        |
| 繰越金      | 5,759円 (1.7%)    | (平成元年度から繰越されたお金)                 |
| その他      | 6,150円 (1.8%)    | (利子割交付金、自動車取得税交付金、交通安全対策交付金、寄附金) |



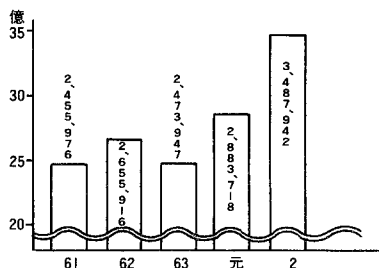
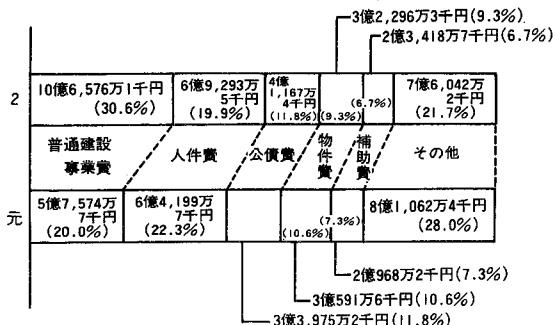
### 入ったお金(歳入)

町に入ったお金(歳入)は、全体で35億7,396万7千円で、その内、町税、分担金及び負担金、使用料手数料、財産収入、繰入金等、自分の町で確保できるお金(自主財源)は43.5%となりました。

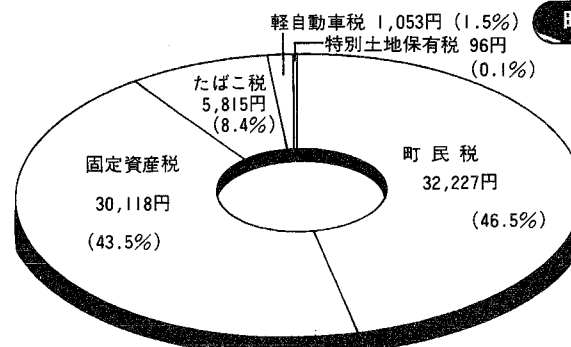
また、地方交付税や地方譲与税、国・県支出金、地方債などのお金(依存財源)は56.5%となりました。

＜性別別＞

決算額の推移



町税の内訳



皆さんから納めていただいた税金は、合計で7億2,157万9千円で、前年度と比べて3,269万7千円4.7%の増となりました。

町税総額 7億2,157万9千円  
1人あたり納めた税金 69,309円  
1世帯あたり納めた税金 280,989円